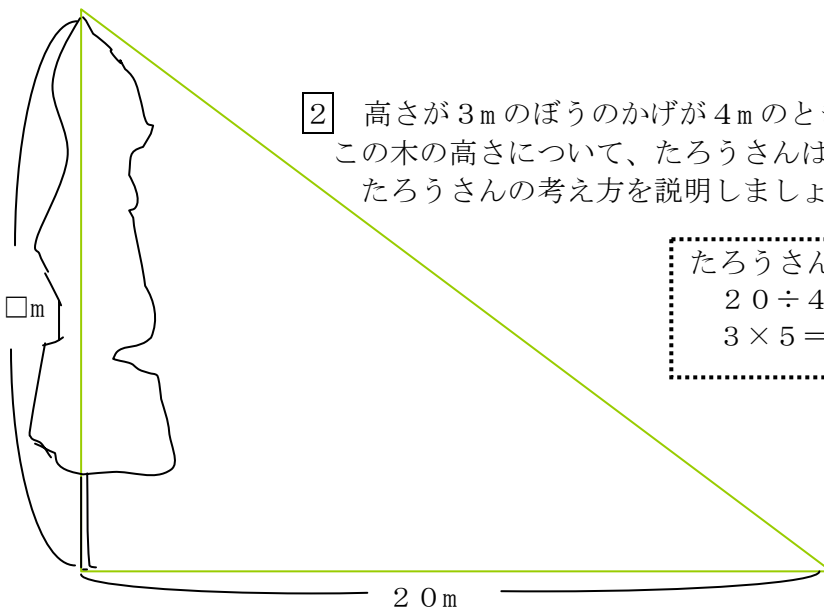
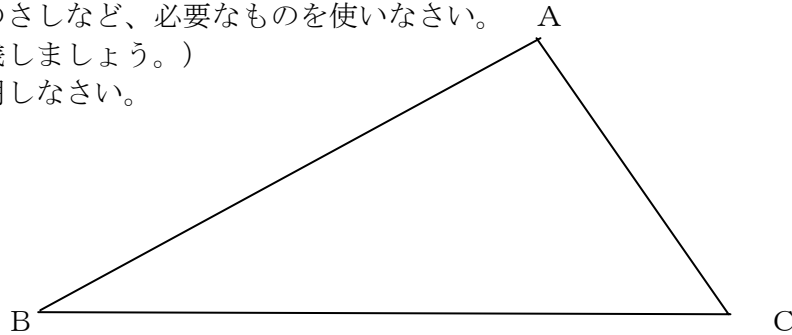


「活用」の力を育てる評価問題

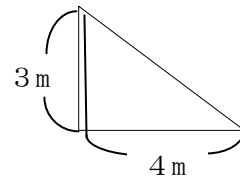
評価問題例

- 1 右の三角形の3倍の拡大図と1/3の縮図をかきましょう。
分度器、コンパス、ものさしなど、必要なものを使いなさい。
(コンパスなどの線も残しましょう。)
かき方について文で説明しなさい。



- 2 高さが3mのぼうのかげが4mのとき、木のかげは20mでした。
この木の高さについて、たろうさんは次の式で計算しました。
たろうさんの考え方を説明しましょう。

たろうさんの考え方
 $20 \div 4 = 5$
 $3 \times 5 = 15$ 答え 15m



評価問題のポイント

- 1は拡大図、縮図の作図問題である。コンパス、分度器、ものさしなどの中から、必要なものを活用して作図をさせるとともに、作図の手順を文にして説明させる。拡大図や縮図の意味の理解を一層確かなものにし、適切に説明する力を身に付けさせることをねらいとしている。
- 2は木の高さのように実際は測定しにくい部分を影の長さを測って求める方法について、文に書かせることを通して、説明する力を伸ばすとともに、実生活に算数を活用しようとする態度の育成をねらいとした問題である。
- 目的や場合に応じて、定規やコンパスなどを用いて作図する方法を活用できるようにする。
- 作図は個人差が著しいと考えられるので、学習状況をとらえ個に応じた指導にあたる必要がある。